

消防庁 防災情報室			
内閣府(防災担当)			
住民等への情報提供計画			

(2) 訓練の詳細情報

非常通信ルートを用いた訓練
訓練で使用する非常通信計画
※往路と復路が同じ場合は往路のみをお書きください。(異なる場合は復路もお書きください。)
<地方通信ルート>
例：
● 既存のルートを使用する場合 ○○市役所（自営）→○○県
● ルートを新設する場合 新設：○○市（使送）→△△電力（中防）→消防庁（中防）→内閣府
● 往路と復路でルートが異なる場合 往路：○○市役所（使送）→△△センター（その他）→○○県 復路：○○県（その他）→○○市役所
<中央通信ルート（都道府県～内閣府（消防庁経由））>
第 経路： ルート
※中央ルートを新設した場合はそのルートを記載ください。
例： ○○県（使送）→△△電力（中防）→消防庁（中防）→内閣府

非常通信ルート以外の通信手段を用いた訓練

具体的な訓練内容

例：

<衛星携帯電話を活用した伝達訓練（総務省より貸出し・自治体保有）>

- 訓練の種類
実動訓練（もしくは机上訓練）
- 実施場所
〇〇県△△市役所、△△市消防本部
- 訓練概要
水没による市役所庁舎の電源断及び市町村防災無線の故障を想定し、保管している衛星携帯電話を使用して△△市役所と△△市消防本部間の通信を行う。
- 通信機器の概要
〇〇県庁：衛星携帯電話（ワイドスター）【1台】（総務省より貸出し）
△△市役所：衛星携帯電話（ワイドスター）【1台】（自治体保有）

<防災相互波を活用した伝達訓練>

- 実施場所
〇〇県庁
- 訓練概要
震度6強の揺れにより、公衆通信網に障害を受けた場合等を想定し、防災相互波を用いて△△電力と〇〇県庁間の通信を行う。

その他

具体的な訓練内容

例：

<非常用電源を用いた運用訓練>

- 訓練内容
水没による庁舎の商用電源断を想定し、備蓄している非常用発電機を県防災無線設備に接続し稼働させる。その際、燃料の残量を確認し、使用可能時間の把握、追加の燃料確保手段の検討を行う。

(3) 訓練の結果報告

非常通信ルートを用いた訓練	
通信ルートの利用について	例： 計画した通信ルートを利用したか、利用できなかった場合の理由と別ルートの構築状況（速やかに構築できたか等）等
通信ルートの有効性について	例： 訓練の結果を踏まえて、訓練で利用した通信ルートが有効と考えるか、改善の余地がある場合は原因や改善策 等
地域防災計画や通信ルートの変更に関する検討について	例： 訓練の結果を踏まえて、地域防災計画や地方通信ルートの見直しを行う予定があるか 等 ※見直しを行う必要がない場合にはその旨をお書きください。
その他課題・改善点	例： 訓練の結果を踏まえて、その他に課題・改善策 等

非常通信ルート以外の通信手段を用いた訓練

訓練で得られた知見・課題、機器の有効性や改善点

<訓練の種別ごとに以下を記載ください>

- 通信訓練の結果
- 災害時における有効性や課題及びその改善策
- (総務省より機器を借り受けた場合)今後の災害時の機器借り受けを希望するか 等

例：

<衛星携帯電話を活用した伝達訓練（総務省より貸出し・自治体保有）>

- 正確かつ迅速な情報伝達ができた。
- 訓練で普段使用しない機器の取り扱いを習熟できたが、定期的を使用することにより災害時に円滑な操作ができるようにする必要がある。
- 今後、災害時の機器借り受けを希望する。

その他

訓練で得られた知見・課題や改善点

例：

<非常用電源を用いた運用訓練>

訓練の結果を踏まえて、非常用電源が有効と考えるか、改善の余地がある場合は原因や改善策 等

(4) 訓練結果の総評

例：

問題なく訓練を実施できたか、訓練全体を通しての課題や改善策 等

(5) ご意見・ご要望